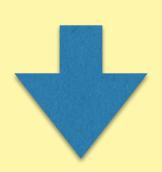
実機テストの手順

主に10ステップ

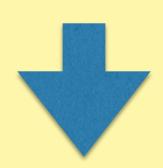
- 1. Xcodeで新規プロジェクトを作成
- 2. Xcodeを立ち上げたまま、シミュレーターから 実機へ切り替えRunボタンをクリック
- 3. Fix Issueをクリック
- 4. 「Xcode 上で」 Apple ID 作成
- 5. メールでアカウントをverify(確認)
- 6. Xcode 上で Apple ID を再び追加
- 7. iOS Development (Signing Identities) をCreate
- 8. Xcode上でRunボタンを押して Fix issueをクリック
- 9. 実機の「設定」で 開発元を信頼をクリック
- 10. 完成!!

新しくプロジェクトを作成し、 PCに実機をつないで、Xcode上でRunをクリック



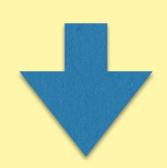
このコンピューターを信頼しますか?と アラート表示されるので、信頼をタップ

そうすると、Xcode上でエラーが発生するので、「Fix issue」をクリック→Addをクリック



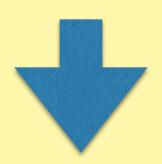
Apple IDの入力を求められるので、入力してSign Up (作成されていない場合は、Create後作成後入力)

Xcode上で左上の「Xcode」→「Preferences」の順 にクリック→上部「Accounts」を選択



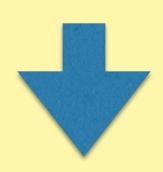
選択後、左下の「+」ボタンをクリックし、「Add Apple ID」をクリック
→Apple IDの入力を求められるので再度入力

その後、右下の「View Details」クリック
→ 「iOS Development」横の「Create」をクリック
その後「Done」をクリック



これで、開発証明書がキーチェーンに追加されます。

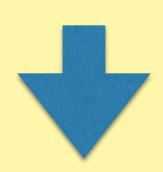
再び、PCと実機がつながった状態で、 Xcodeの左上「Run」をクリック→エラーが出るので、 「Fix issue」をクリック



「Personal Team」を選択し、「Choose」

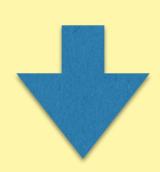
すると、Xcode上で再度エラーが出ます。

→実機上には、エラー解消の手順が記載されています。

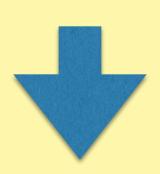


実機で「設定」→「一般」→「プロファイル」とタップ していき、該当のファイル(作成したApple ID名)をタップ すると、Xcode上で再度エラーが出ます。

→実機上には、エラー解消の手順が記載されています。



実機で「設定」 \rightarrow 「一般」 \rightarrow 「プロファイル」とタップ していき、該当のファイル(作成したApple ID名)をタップ \rightarrow Apple ID名をタップ \rightarrow 「信頼」をタップ 先ほどXcodeからRunしたアプリをホーム よりタップするとアプリが起動します。



これで、実機でアプリを確認できるようになりました!!